

「見えない恐怖 アスベスト(石綿)」に訪問していただき、有難うございます。

このサイトは「アミアンネット」という仲間（アスベストが原因で発病した患者とその家族および関係者）によって構成しています。

トップページの猫ちゃんが見据えている先に何があるのか…？

見ようとしても見えない危険があるということ、この猫ちゃんのまなざしが語ってくれているような気がします。

その見えない危険をどのように知り、どのようにして回避していくのか？

またその対策(治療、救済、補償)についても、少しずつ情報共有をしてゆきたいと考えています。

私たちの経験から、突然にアスベスト疾患を発症した不安と困惑、治療の辛さ、もどかしさ、そして理不尽さに納得できない気持ちがいっぱいです。

真っ暗闇のトンネルの中にいるような恐怖と苛立ちを体感した方も少なくないと思います。

いままさに、トンネルの中をさまよっている方もおられるでしょう。いくら目を凝らして探しても出口が見つからなくて、憔悴しているかもしれません。

でも、ちょっとだけ周囲の空気にふれてみてください。

暖かい息づかいが感じられませんか？

そう、あなたの周りにはあなたを愛し、気遣う家族や友人がいるのです！

いずれトンネルを抜け出たら、皆さんの顔が見えるでしょう。

でもそれまでは、目に見えないけど、あなたを愛する「こころ」を感じていてください。

真っ暗なトンネルの中にも、決して、孤独でもないし、寂しくもなく、寒くありません。

もしかしたら、猫ちゃんが見据える先には、希望の光が見えているのかもしれない。

アスベストで健康を奪われた方、命を奪われた方、大切な家族を失った方…多くの方が人生を狂わされました。しかし哀しみのどん底に突き落とされてもなお、見えてくるのは「自分の人生」です。

不孝にして病気になってしまったけど、よく考えてみれば自分の人生も悪くは無かった。

生を受けてから今日まで、一生懸命生きてきた。

大変な状態でも愛する人々が周りにいてくれた。

考えてみれば自分の人生もまんざらではない…と思えるかも。病気になった人生ではなくて、自分の人生の中の一部が病気になってしまったのです。

ある人が言いました。「病気に勝つというのは存命期間ではなくて、家族が一致団結して向かっていることが、病気に勝ったことになる」と。

愛する家族を失ったけど、家族が心を合わせて闘った時間があります。

このサイトは経験のない私達が試行錯誤しながら作りました。未熟な点をご容赦いただき、ご意見、ご感想など伺えれば幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

管理人代表：古川和子

※アミアン(amianto)とはイタリア語でアスベスト